

民生委員・児童委員の活動紹介

一人ひとりの些細な変化にも気づく～北山村民生委員・児童委員協議会～

和歌山県社会福祉協議会では、県内の民生委員・児童委員及び民生委員・児童委員協議会の活動を順次ご紹介しています。

今回は、北山村民生委員・児童委員協議会

会長 中瀬古 武雄（なかせこ たけお）さんにお話をお伺いしました。

（取材日：令和元年7月17日）



■民生委員になられたきっかけはなんですか？

主任児童委員制度が平成6年に創設され、私の民生委員活動は主任児童委員からのスタートでした。

引き受けた当時、北山村の郵便局で務めており、郵便局員は日頃から配達だけを目的とするのではなく、地域の見守り活動も意識的に行っていました。

その一つの取組が“ひまわり郵便（手渡し郵便）”です。これは、郵便物をポストに投函するのではなく、郵便局員が直接本人に手渡しするという活動です。高齢者の一人暮らし世帯や、在宅・訪問サービス等を受けていない高齢者世帯などを対象としており、社協と郵便局が協定を結び、情報共有を行いながら取り組んでいます。

このようなことから、民生委員になる前から住民一人ひとりと顔の見える関係が築けていたと思います。

■普段の活動はどういったことをされていますか？

見守り活動や相談支援などを行っていますが、何か特別なことをしているわけではありません。しかし、北山村は人口（2019年3月末現在445名）が少ないことから、住民同士が顔なじみで、人柄や家族構成などまで分かります。

このことから、「最近あの人が見かけないな」「今日少し元気がないな」など些細な変化にも気づくことができたり、周りからも情報が入ってきます。これはこの地域の強みかもしれません。

また、北山村の民生委員は5人と少ないですが、人口比率的には手厚い地域といえるかもしれません。

○北山村民生児童委員事務局（北山村社協） 久保事務局長

中瀬古さんは、地域を見渡すアンテナが凄いです。現在は民生委員だけでなく、消防団員もされております。またこれまでも人権擁護委員など地域の重要な役割を長年に渡りされており、住民から頼りにされる存在です。地域の状況をととても良く把握されており、社協につないでくださるのでとても助かっています。



(※民生委員活動：学校行事への参加や地域の見守りの様子)

■これから民生委員になる人にアドバイスはありますか？

民生委員・児童委員は深刻ななり手不足が問題とされています。北山村でも定数の縮小なども、今後検討しないといけないかもしれません。

また相談事例も複雑になり、これまでに無かったような相談なども増えてきています。

このような中、民生委員になっていただく方に負担となるようなことは言いたくありませんが、民生委員制度が始まって100年以上経過し、これまで先輩方が築いてこられた想いを守っていただきたい。そして、自分ができる範囲で、身の丈にあった活動をしていただき、困ったことがあれば先輩民生委員を頼ればよいと思います。

普段の活動でも一人で解決できる問題はそう多くは無いです。周りを頼って、相談して、解決に向けて繋いでいくことが大切です。

また笑顔を絶やさないことや、しゃべりやすい雰囲気づくりなど、困っている人が相談しやすい環境をつくることも大切だと感じています。